

【出演者】

宇佐美 信義

菊野 進太

小熊 さゆり

佐々木 夏歩

酒井 晴美

清水 公裕

谷内 仁

三上 光代

三反崎 康子

安川 実穂

山口 恭史

【うた】

植出 良寛

斎門 佳代子

斎藤 栄三郎

酒井 晴美

田中 千香

田中 恵

寺島 正樹

にしお みかこ

【舞台・ロビー装飾】

金崎 一郎

菊野 愛子

菊野 進太

齊藤 トキ子

眞柄 芽生

眞柄 由佳

三反崎 康子

山下 はるみ

※【うた】【舞台・ロビー装飾】は10月末日時点の参加者です

ダンスプロジェクトの流れ

あらゆる市民とアーティストがその存在を認め合い
時間を共有しながら合計 23 回のワークショップを通して
一つの舞台をつくり上げる。



詩のワークショップ
ファシリテーター

上田 假奈代 Kanayo UEDA

福井に生きる人々の生の“こえ”を集め、作品のテーマにする。

方法は詩作。初めて会った人とペアになり互いをインタビュー。その内容から相手がわたしの詩を作り朗読。
わたしの、現在・過去・未来が相手の言葉と声を介してわたしに届く。集まった詩の数々は人々のリアル。
そのリアルをダンス作品に昇華させていく。

構成・演出・ダンスワークショップファシリテーター



宝栄 美希 Miki HOEI

石川県出身、2016年より東京から石川県に拠点を移し、ダンサー兼振付家として日本全国、および国外でも活動を展開している。これまでに、国内外のコンテンポラリーダンスのコンペティションで数々の受賞。最近ではテレビ CM の振付や社会福祉に関わるイベントへの出演など、幅広く活動している。2018年に能美市観光大使に任命される。

和紙造形ワークショップファシリテーター



かとう こづえ Kidue KATO

あかりがきっかけで和紙素材に惚れ、造形を学び工芸の道へ。オブジェ制作や現場施工・雑貨販売まで、和紙を使った造形を幅広く手がけている。そして現在は、個の活動から地域に結びつく活動へ、工芸から文化・芸術へシフトしている。「誰にでも」ではなく「たったひとり」の共感を求めて。

音楽制作



谷口 薫里 Kaori TANIGUCHI

福井大学教育地域科学部 音楽教育サブコース卒業。福井大学大学院教育学研究科作曲専攻修了。福井県観光プロモーションビデオ「福の便り～しあわせが届く故郷福井～」BGM 作曲・DTM プログラミング。映像関連の音楽や合唱・器楽の作編曲等に携わりつつ、近年は自作曲の演奏にもチャレンジしている。逆再生音や人の話し声なども音楽に取り入れ、前衛よりもポップな、ポップスよりも構築的なアヴァン・ポップの方向に辿り着き、創作の幅を広げている。

うたうワークショップファシリテーター



岡田 健志 Kenji OKADA

福井大学教育地域科学部 音楽教育サブコース卒業。福井県新人演奏会オーディション声楽部門合格。オペラ「魔笛」弁者役、ミュージカル「マイフェアレディ」ヒギンズ教授役、プロ野球 BC リーグ開会式国歌独唱、福井新聞社さらさらサロン中村玉緒、アグネス・チャン各講演会オープニングコンサートなどに出演。

宣伝美術・写真撮影／小林 直樹 Special Thanks／増澤 孝恵
企画・制作／荒川 裕子（福井芸術・文化フォーラム）

【日時】 2019年12月8日（日）

開演 15時（開場 14時30分）

【会場】 福井市文化会館

【チケット】 一般：1,200円 フォーラムメイト：1,000円

※障害者手帳をお持ちの方は半額 ※小学生以下無料

【チケット取扱】 福井市文化会館、福井芸術・文化フォーラム事務所、ショッピングシティ・ベル、響のホール

【助成】 平成31年度福井県芸術文化活動推進事業

【協力】 (公財) 福井市ふれあい公社

【後援】 福井市、福井市教育委員会、(福) 福井県社会福祉協議会、(福) 福井市社会福祉協議会、(公財) 福井県文化振興事業団、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ さかいケーブルテレビ、福井街角放送、たんなんFM79.1MHz、月刊URALA

【主催】 NPO法人 福井芸術・文化フォーラム